

三鷹駅南口中央通り東地区再開発ニュース

第 5 号

(平成 20 年 9 月発行)

発行：三鷹駅南口中央通り東地区再開発協議会
独立行政法人都市再生機構東日本支社
三鷹駅南口再開発事務所
連絡先： 0 4 2 2 - 7 0 - 0 5 5 6 (都市機構)



トピックス

協議会第 5 回勉強会の報告
協議会第 6 回勉強会について

協議会見学会の報告

協議会第 5 回勉強会の報告

平成 20 年 8 月 5 日(火)、機構三鷹駅南口再開発事務所にて『VR (バーチャルリアリティ) について』というテーマで、勉強会が開催されました。

権利者(6 名)、オブザーバーとして三鷹市、(株)まちづくり三鷹、機構等が出席しました。

勉強会では、機構から『VR (バーチャルリアリティ) について』の説明があり、多数の質問が出て活発な意見交換が行われました。

～ VR (バーチャルリアリティ) について～

1 VR (バーチャルリアリティ) とは

- ・都市空間のデジタル模型
- ・計画作成段階において合意形成や意思決定を支援するツール
(完成時に作成する模型やパースとは異なります。計画の進捗にしたがって進化していきます。)

2 VR の利点

- ・参加者が同じ画面を見ることにより情報を共有できます。
- ・街をいろいろな角度から見るができます。(人の目線、上空から、等)
- ・計画建物、電柱、植栽、看板等について、その場で変更、確認できます。

《意見及び質問》

- ・平面だったゾーニング(案)を立体的に見られて非常に分かりやすかった。
- ・今後、広場の活用方法も考えていかなければいけないと思う。
- ・商業施設の屋上部分は緑化できないか。
- ・商業施設は、数回来れば飽きてしまうものでなく、真に魅力ある集客力のあるものを誘致する必要がある。
- ・しろがね通り側と中央通り側が同じように見える。(同じ店舗画像を貼り付けているためであり実際とは異なる。)
- ・他の権利者にもできるだけ VR を見てもらい、意見がほしい。 等々



第 5 回勉強会で説明した VR は機構が「仮に」作成したものであり、実際とは異なります。

協議会見学会の報告

平成 20 年 9 月 8 日(月)、豊洲駅前地区再開発事業の見学会が開催されました。権利者(11名) オブザーバーとして三鷹市、㈱まちづくり三鷹、機構等が出席しました。

見学会では、豊洲駅前地区市街地再開発組合の理事長、組合事務局、コンサルタントから事業概要の説明後、質疑応答が行われました。

現地見学については、屋上、地下駐車場、荷さばき場、昭和大学豊洲クリニック、江東区施設、パーティールーム、商業施設等を案内していただきました。

《質疑等》

- ・クリニックについて、その位置付け、入院施設の有無・苦心した点など。
- ・店舗と住宅のバランス決定について。
- ・商業施設について、時間帯・曜日による人の流れ、集客程度について。等々



事業概要説明・質疑応答



噴水広場

道路側店舗



区民館等



エスカレーター



パーティールーム



住宅棟屋上



広場にて集合写真

協議会第6回勉強会について

日時：平成 20 年 10 月 14 日(火) 19 時 30 分から(予定)

場所：機構三鷹駅南口再開発事務所会議室

詳細につきましては、改めてお知らせいたします。

第5回勉強会及び見学会を踏まえ、機構から一部アイテムを追加したVR(バーチャルリアリティ)等について説明があります。より良いまちづくりに向けて権利者のみなさまで活発な意見交換をいたしたく、ご出席の程よろしく願います。

以上